



決して誰一人取り残さず、全ての子どもたちの可能性を最大限引き出す学校

札幌市立中央中学校 校長 大井 一雄

春風が心地よく、新しい季節の始まりを感じる頃となりました。

今年度、新たに校長に着任しました大井一雄（おおい かずお）と申します。微力ではありますが、子どもたち一人一人が、本校における学びを通じて健やかに成長していくことができるよう、精一杯努めてまいります。保護者、地域の皆様には、御支援と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

3月には、義務教育9年間で大きな成長を遂げた151名の卒業生が学び舎を巣立っていきましたが、このたび新入生179名を迎え、1学年5学級、2学年5学級、3学年4学級、特別支援4学級の合計18学級で令和7年度がスタートしました。新たな出会いや学びへの期待に胸を膨らませた子どもたちと一緒に学校生活を送っていくことを楽しみにしております。

さて、本校では、タイトルにありますように、「決して誰一人取り残さず、全ての子どもたちの可能性を最大限引き出す学校」をテーマとして、今年度も教育活動の更なる充実を図ってまいります。

本校の教育が目指す生徒の姿は以下の校訓の通りです。

■校訓

・ 吾あり

自分自身を大切にし、質の高い理想を目指し、強い意志をもって未来を創造していく生徒の姿

・ 人あり

友人、地域の人々とのつながりを大切にし、日本や世界の国々の全ての人々と共に生き、思いやりの心を大切にする生徒の姿

・ 学びあり

真理と正義を追求し、社会の中で役立つ人になるため、確かな知恵を自らの学びとしていく生徒の姿



目指す生徒の姿の具現化に向けて、私たち教職員一同、子どもの声にしっかりと耳を傾けながら、愛情と信頼を基盤とした教育活動の推進に努め、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりを保護者、地域の皆様方のお力添えをいただきながら進めてまいりたいと考えております。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。